



二俣川小だより

12月号

横浜市立二俣川小学校
発行責任者

平成30年11月22日
校長 池田 千晶



言葉の力

池田 千晶

先日の朝会で「言霊」について話をしました。言葉には力があり、人を勇気づけることも傷つけることもあるという話です。言葉は不思議なもので、いつも言っている言葉通りの現象を引き寄せるとも思っています。次の文は私の好きなフレーズです。

たった一言が人の心を傷つける
たった一言が人の心をあたためる

この話は、今月の生活目標である「相手の気持ちや立場を考えて行動しよう」とも関連しています。朝会で、毎月決められた学年が目標に向かって各クラスの取組を発表しています。今月は6年生が発表したもので、紹介します。

- 相手のことを考えて行動できた人を発表し合って、ポイントをため目標達成を目指す。
- 一人ひとりが言われて嫌な言葉を決めて使わないようにする。お互いにその言葉を知ることによって注意し合い、気持ちの良い言葉を使って生活できるようにする。毎週末に振り返り、できたかどうかを確認する。
- 言う前に考える。相手の立場に立って考える。自分がされて嫌なことや言われて嫌なことはしない。毎日振り返る。

他の学年もクラス毎に取組目標を立てて、教室近くの掲示板に貼っています。目標に向けて達成できたのか振り返りをしながら、取り組んでいます。

また、言葉と同じように音にも力があると思います。先週、二小音楽会がありました。各学年の発表を聞いていると、心を揺さぶられ、前向きな気持ちになりました。言葉を音にのせることでさらに深く心にしみこんでいく感じ。子ども達が達成感を味わい、自己有用感を高めることをねらいとして始めた取組は、誇らしげにやりきった子どもの表情からも成果が出ていることを感じます。同時に聞く人の心をあたため、勇気を与えてくれていると思います。



子どもたちの成長を促すために何が良いのか、職員で知恵を出し合いながら、今月も取り組んで参ります。ご理解ご協力をよろしくお願いいたします。